

研修機関名 JA 愛知西はつらつ農業塾 (仮)

農業従事者の高齢化と後継者不足、担い手の不足による農地の遊休化を少しでも解消し、明るい未来のため、「はつらつ農業塾」を平成 20 年 8 月に開講しました。2 年間で専門的な知識・技術を学ぶ「担い手育成コース」の塾生を募集します。

1 募集内容

(1) 募集人数

若干名

(2) 応募資格

- ① 就農時に 50 歳未満
- ② 一宮市、稲沢市で就農

(3) 応募期間

毎年 4 月下旬～6 月上旬

(4) 応募方法

申込書に記入の上、JA 愛知西、一宮市、稲沢市へ申込 (FAX でも可)

(5) 応募から就農までのスケジュール

項 目	日 程
募集期間	令和 8 年 4 月下旬～6 月上旬予定
研修説明会 (検討中)	令和 8 年 5 月中旬予定
面接会 (検討中)	令和 8 年 7 月上旬予定
結果通知	面接結果出次第、随時郵送にて
入塾式	令和 8 年 7 月下旬予定
研修開始	令和 8 年 8 月 1 日予定
就農開始	令和 10 年 8 月 1 日

(6) 修了要件

出席状況と実習の成果で判断。

(1 年目終了時に進級審査があります。)

2 研修内容

(1) 研修期間

令和 8 年 8 月～令和 10 年 7 月

(2) 研修場所

一宮会場：一宮市北小湊

稲沢会場：稲沢市一色下方町

(3) 研修内容

- ① 1年目：各 JA 出荷組織での現場研修を主とし、個別圃場※での栽培・管理、共同実習への参加、講義等
- ② 2年目：大根専業コース、なす専業コース、その他専業コースを選択し、選択した出荷組織での現場研修を主とし、個別圃場にて専攻品目の栽培・管理、講義等

3 研修費用

年間 10,000 円（教材費・保険料などを含む）。

※肥料、農薬、農具（備中・鍬・手万能など）、資材（不織布・マルチ・支柱など）、農機（トラクター・草刈機）は使用可能です。

4 問い合わせ先

愛知西農業協同組合 営農部 営農指導課
電話 0587-36-3326

露地ナス・ホウレンソウ

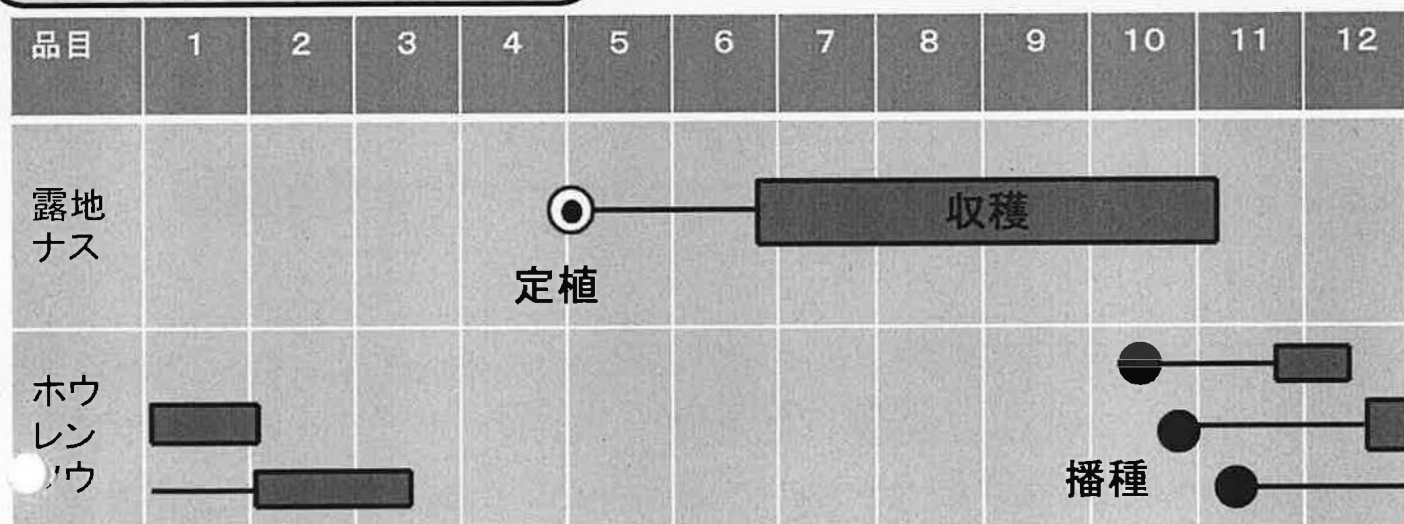
おすすめポイント

- 露地栽培で投資額が比較的少ない
- 小さい面積でも一定の所得が見込める
- 部会での共同出荷体制が確立されている

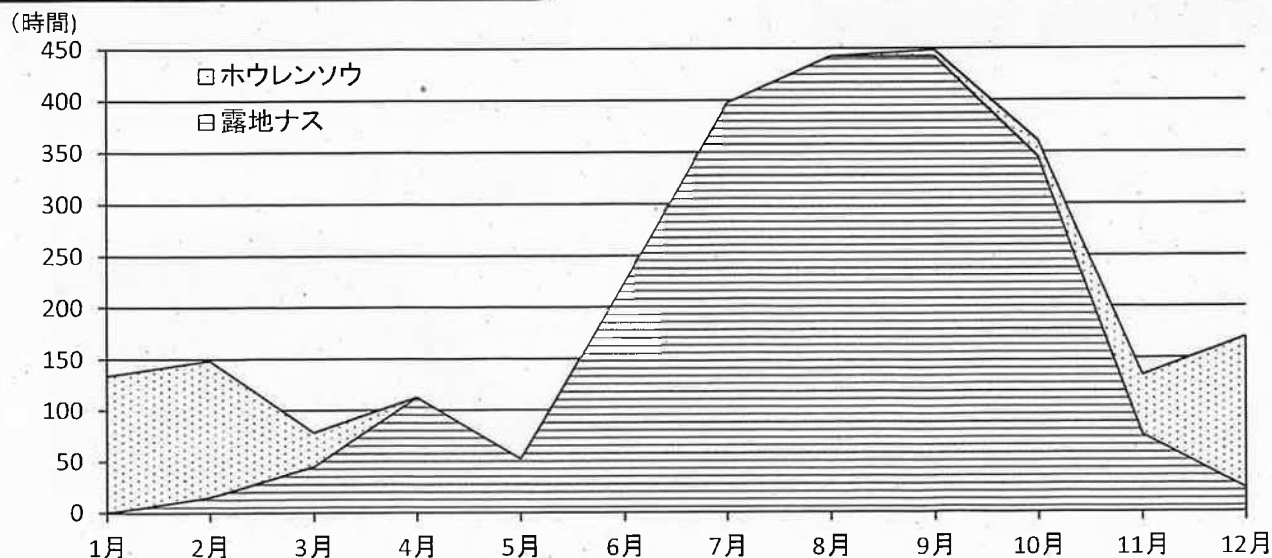
モデルの概要

- 経営規模
38a
- 作付述べ面積
露地ナス18a、ホウレンソウ20a
- 収支
粗収益 6,210千円
経営費 3,668千円
農業所得 2,542千円
- 機械・施設
トラクタ、軽トラ、灌水装置、
防風ネット、支柱、動力噴霧器、管理機
- 労力 2人

年間栽培体系



月別労働時間(経営全体)



ダイコン・ネギ

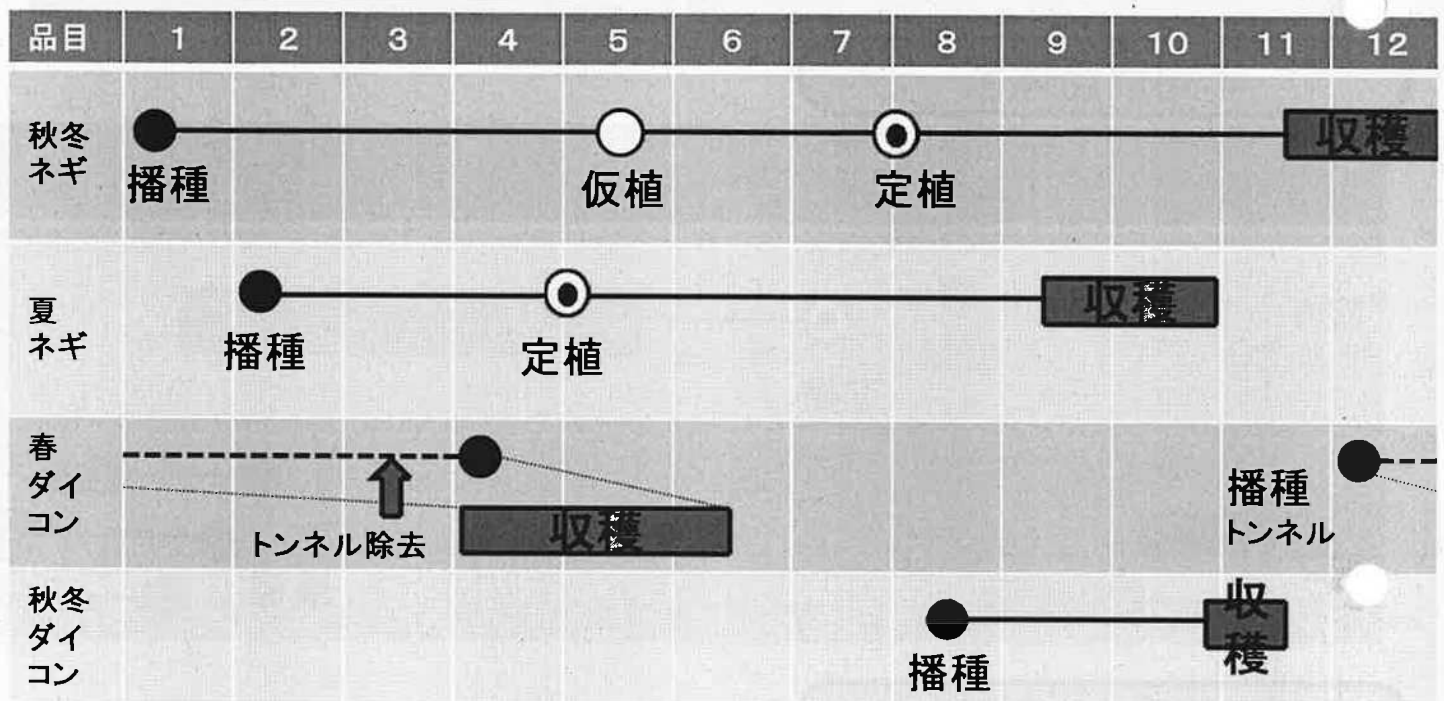
おすすめポイント

- 露地栽培で投資額が比較的少ない
- 部会での共同出荷体制が確立されている

モデルの概要

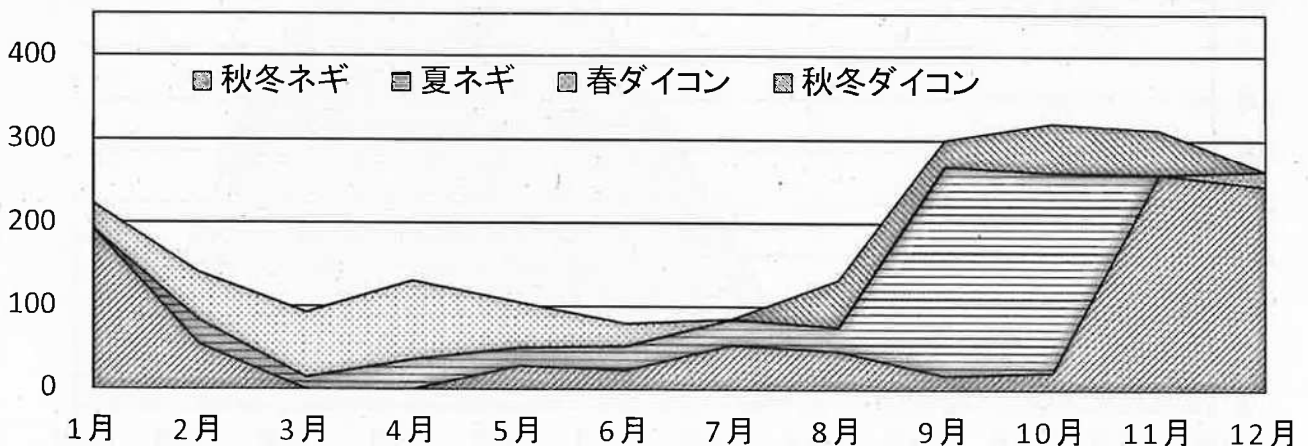
- 経営規模
86a
- 作付述べ面積
秋冬ネギ18a、夏ネギ18a
春ダイコン30a、秋冬ダイコン20a
- 収支
粗収益 6,216千円
経営費 3,324千円
農業所得 2,892千円
- 機械・施設
トラクタ、軽トラック、ダイコン洗浄機、
ネギ収穫機・調製機、管理機、動力噴霧器等
- 労力 2人

年間栽培体系



月別労働時間(経営全体)

(時間)



研修機関名 JA あいち豊田みよし施設園芸支援センター

I 産地の特徴について（または研修機関の特徴）

研修施設としては、20aのハウスと15aの露地ほ場を活用し研修を行います。ナス・ブロッコリー以外にも、産直向けの野菜栽培やJA職員向け研修もおこなっています。新規就農者育成総合対策研修機関に認定されているため、農大で開催されるニューファーマーズ研修と合わせて、年齢・前年所得等によっては国の補助事業を受けることもできます。

II 募集内容

（1）募集人数 2名

（2）応募資格

- ①満20歳～60歳で、農業を継続的に行う意思のある方
- ②豊田市・みよし市で就農が出来る方
- ③ナス(露地又はハウス)と露地野菜(ブロッコリー)の栽培を学びたい方
又は、複合経営を目指す方

（3）応募期間

令和7年10月～12月

（4）応募方法

履歴書に必要事項を記入し、応募先へ郵送もしくは応募先窓口までご提出願います。

（5）応募から就農までのスケジュール

項目	日程
募集期間	令和7年10月～12月
事前相談	随時
研修説明会 体験研修	随時
面接会	令和8年1月
結果通知	令和8年1月
オリエンテーション	令和8年2月
開校式	未定
実務研修開始	令和8年4月
出荷開始	促成ナス:11月～6月 ブロッコリー:12月～2月

Ⅲ 研修受入内容

(1) 研修期間

令和8年4月～令和10年3月

(2) 研修場所

JA あいち豊田みよし施設園芸支援センター

〒470-0214

みよし市明知町大塚 132 番地 3

TEL0561-33-1800

3 研修内容

項目	内容
生産研修	栽培管理(播種・定植・防除・施肥・収穫・調整等) 機械操作・環境管理
経営・労務研修	経営に必要な基礎知識 労務管理に必要な基礎知識
就農準備	就農に必要な知識と手続き
視察、交流	市場見学・産直店舗視察 軽トラ市・地域イベント参加

4 研修費用

無料(交通費・被服費・食費等は個人負担)

5 問い合わせ先

あいち豊田農業協同組合営農生活部営農相談課

〒 471-8511

豊田市西町 4 丁目 5 番地

TEL: 0565-31-2460

E-mail: e.sidouin@toyota.aichi-ja.or.jp

みよし施設園芸支援センター 研修生募集!!

豊田市・みよし市内で就農をお考えの方
施設ナス栽培と露地野菜の複合経営を学び就農を目指しませんか？

募集要項

年 齢：満20才～60才で農業を継続して行う意思のある方

研修期間：令和8年4月～令和10年3月（2年間）

研修場所：JAあいち豊田 みよし施設園芸支援センターMGMI～恵み～
みよし市明知町大塚132番地3

研修内容：JAで定めるカリキュラムに基づく座学・実地等

2年目は研修ハウスにて模擬経営を実践

研修終了後：独立就農

※関係する生産部会組織へ加入斡旋をします

研修助成：新規就農者育成総合対策（受給条件あり）

研修作物：ナス（施設栽培）・露地野菜（ブロッコリー）等

募集人員：定員2名

募集期間：令和7年10月1日～12月26日

選考方法：面接

応募方法：履歴書に必要事項を記入して応募先へ郵送もしくは
応募先窓口までご提出ください。



応募先・お問い合わせ JAあいち豊田 営農生活部 営農相談課
住所 〒471-8511 豊田市西町4丁目5番地
電話 0565-31-2460

 JAあいち豊田

研修機関名 公益財団法人農林業公社しんしろ

I 募集内容

1 募集人数

- ・ 若干名

2 応募資格

- ① 就農予定時の年齢が 50 歳未満の就農意欲に満ちた心身共に健康な者
- ② 研修終了後、市内に定住し、本市内において奨励作物（いちご・トマト・ほうれんそう・菌床しいたけ）で新たに農業経営を開始しようとする者
- ③ 新城市新規就農者受入支援検討会に対して新規就農相談カード及び履歴書を提出し、新城市新規就農者受入支援審査会にて認定され、農林業公社しんしろで登録証を受けた者で、1 年以上の新規就農研修を受ける意思のある者

3 応募期間

- ・ 随時

4 応募方法

- ・ 個別の就農相談（市農業課、農林業公社、JA 愛知東、県普及課）
- ・ 各種説明会への参加

5 応募から就農までのスケジュール

項目	日程
募集期間	随時
個別の就農相談 問い合わせ	随時
就農林相談会 アグリチャレンジ相談会 現地説明会（トマト・ほうれんそう） 現地説明会（いちご）	【R7 年度】 11/30 【R7 年度】 7/6、11/16 【R7 年度】 6/1、9/28 【R7 年度】 11/1、1/17
受入支援検討会	随時

結果通知	随時
新城市新規就農受入支援 対象者認定証の交付	研修前
新規就農研修生 登録証の交付	研修前
開講（研修開始）	R8.4.1以降
就農	【トマト・ほうれんそう】 ・ R9.4.1 以降（最短） 【いちご】 ・ R9.7.1 以降（最短） 【菌床シイタケ】 ・ R9.9.1 以降（最短）

Ⅱ 研修受入内容

1 研修期間

- ・ 原則 2 年間

※研修熟度および就農準備が整った場合、期間を短縮することもあります。

【トマト・ほうれんそう】

令和 8 年 4 月 1 日～令和 1 0 年 3 月 3 1 日

【いちご】

令和 8 年 7 月 1 日～令和 1 0 年 6 月 3 0 日

【菌床しいたけ】

令和 8 年 9 月 1 日～令和 1 0 年 8 月 3 1 日

2 研修場所

- ・ 農林業公社しんしろ及び研修受入農家ほか

3 研修内容

項目	内容
生産研修	栽培技術 農業機械操作技術の基礎 農業に関する基礎知識全般
経営・労務研修	経営に必要な基礎知識 労務管理に必要な基礎知識
就農準備	農地取得、補助金、資金制度など、就農に必要な知識と手続き
視察、交流	市場視察（販売・流通・マーケティング）

4 研修費用

無料

※傷害保険料および交通費などは自己負担

5 問い合わせ先

新城市産業振興部農業課農政係（農業振興対策室）

電話 0536-23-7632

FAX 0536-23-7047

E-mail noushin@city.shinshiro.lg.jp

公益財団法人農林業公社しんしろ

電話 0536-37-2260

E-mail kousha-s@tees.jp

HP「アグリチャレンジ新城」



QR コード



新城市 Shinshiro City

まずは検索！



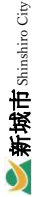
農業経営者になってみませんか？

新規就農者大募集！

新城市役所 農業課
TEL:0536-23-7632
FAX:0536-23-7047

紹介内容について

- ・新城市ってどんなところ？ -2-
- ・募集品目のご紹介 -3-
- ①イチゴ -4- ②夏秋トマト -5- ③ほうれんそう -6-
- ・就農支援制度のご紹介 -7-
- ・研修制度（公社研修）のご紹介 -8-
- ・現地説明会（イベント）のご案内 -9-
- ・HP「アグリチャレンジ新城」のご紹介 -10-



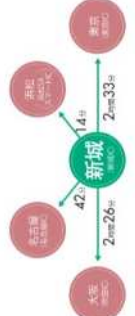
新城市 Shinshiro City

-1-

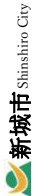
しんしろ
新城市ってどんなところ？



新城⇄名古屋
高速バス運行中



名高バス



新城市 Shinshiro City

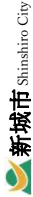
-2-

独立新規就農 募集品目のご紹介

- ・ハウス栽培で安定した収益が見込める。
- ・「標高**550m**」という新城市の高原地域の特色をいかした品目。



イチゴ 夏秋トマト ほうれんそう



新城市 Shinshiro City

-3-



品目紹介①イチゴ

- 品種は「**紅ほっぺ**」が8割、「**愛きらり**」が2割。
- 出荷時期は11月中旬から6月までの約半年間。
- 高設栽培**で就農する方が多い。

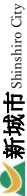
ポイント

- ・農協、県普及課の栽培指導あり
- ・農協を通じて都市部へ出荷



高設栽培





新城市 Shinshiro City

-4-



品目紹介②夏秋トマト

- 愛知県ではJA愛知東管内が**唯一**の夏秋トマト産地。
- 出荷時期は6月下旬から12月上旬まで。
- 養液隔離栽培**で就農する方が多い。

ポイント

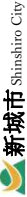
- ・農協、県普及課の栽培指導あり
- ・農協が選果から出荷まで実施



トマト選果場



養液隔離栽培



新城市 Shinshiro City

-5-



品目紹介③ほうれんそう

- 周年栽培**により1年を通して売上が見込める。

収穫作業

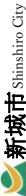


調整・袋詰め作業



ポイント

- ・新城市ならではの「周年栽培」
- ・農協の栽培指導あり



新城市 Shinshiro City

-6-

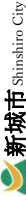
就農支援制度のご紹介

支援①★就農候補地のあっせん・農地取得賃貸借支援
支援②★農業制度資金等の金融借受手続きサポート
支援③★住居のあっせん・研修受入機関による住居費一部助成
支援④★研修実施（**次ページ**で紹介）

独自ポイント

市・県・農協・公社などの関係機関が連携してサポート！

その他
栽培指導、
補助事業の申請
手続きサポート
など



新城市 Shinshiro City

-7-

研修制度（公社研修）のご紹介

研修機関

公益財団法人 農林業公社しんしろ

研修内容

1～2年で実施
公社研修：座学・実習・視察など
栽培実習：研修受入農家の元で実施

費用

①イチゴ
②夏秋トマト
③ほうれんそう
※①～③の内、1つを選択！
研修費無料！
保険料・交通費などは別途必要



新城市 Shinshiro City

-8-

現地説明会のご案内

参加費 無料

事前 予約制

～開催日程(予定)～
イチゴ🍓 11月1日(土)、1月17日(土)
トマト・ほうれんそう🍅🥬 ※本年度の開催終了

開催内容

- ・地域の概要説明
- ・支援体制の説明
- ・栽培施設見学 など



新城市 Shinshiro City

-9-

HP「アグリチャレンジ新城」



新規就農してありん
(新規就農)

まずは来てありん

研修施設してありん
(研修施設)

暮らししてありん

QRコード



★イベント情報
★農地情報

新城市 Shinshiro City

-10-

研修機関名 公益財団法人功農支援会

公益財団法人功農支援会は、2014 年に一般財団法人として設立し、2016 年に公益財団法人に移行した農業経営者を育成する財団です。

研修は、基礎研修と本研修があり、研修作物の栽培技術や農産物販売についての知識を習得する「基礎研修コース」と基礎研修での知識をベースとし、模擬経営を行い農業経営力を養う「本研修コース」があります。合わせて約 2 年の研修になります。

1 募集内容

(1) 募集人数

基礎研修コース：5 名

(2) 応募資格

農業へ従事することを前提とし、心身ともに健康で、18 歳以上の者。高校卒業又は同程度以上の学力を有する者。

(3) 応募期間

研修応募は随時行っています。

(4) 応募方法

下記、問合せ先にメール又は電話をお願いします。その後、日程調整の上、施設見学と面接を行います。

2 研修場所

豊橋農場：豊橋市西赤沢町

ガラス温室（養液栽培・養液土耕栽培・有機栽培）

作物：トマト、ミニトマト

パイプハウス（土耕栽培・周年栽培）

作物：葉ねぎ、コマツナ、アスパラガス等

連携農場：田原市大久保町

屋根型ハウス（土耕栽培・周年栽培）

作物：キク、スプレーギク等

3 研修内容

基礎研修コース（1 年目）：農業に関する基礎技術・同等知識の習得

（トマト、ミニトマト、アスパラガス、キク等）

主な研修内容

施設栽培、農産物販売、家族経営農業実践、大規模農園研修、勉強会等

本研修コース（2年目）：模擬経営（ハウス1棟の管理）、経営管理

主な研修内容

模擬経営、大規模農園の経営、短期研修、勉強会
就農準備等

（トマト、ミニトマト、キク等）

4 研修助成

（1）全コース受講料：無料

（2）研修助成金

・就農準備資金支給対象者（支給には支給要件有）

就農準備資金（県交付）年2～3回申請 12.5万円/月

功農支援会（財団助成）2.5万円/月

・就農準備資金支給対象者外（支給要件に該当しない場合）

功農支援会（財団助成）

基礎研修： 8万円/月（6か月）

本研修： 15万円/月（1年6か月）

5 その他

受講料：無料

食事代：実費

宿泊施設：有（基礎研修生は寮費：無料）

6 問合せ先

公益財団法人 功農支援会

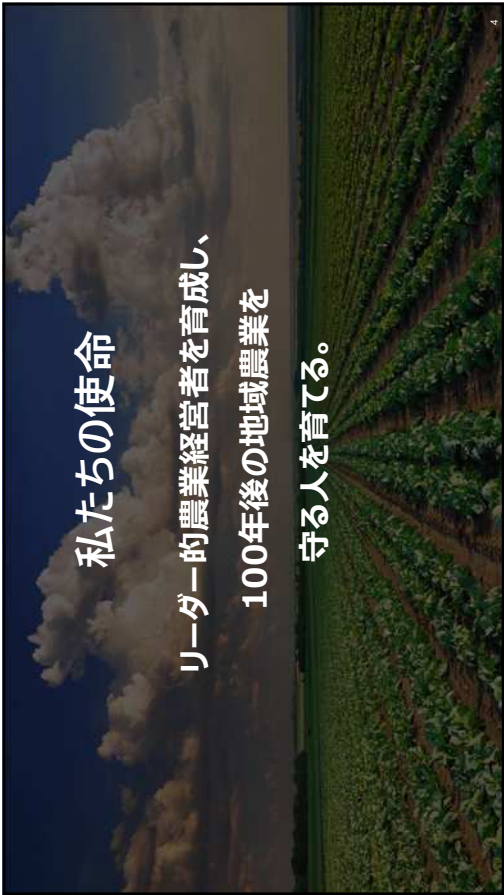
豊橋市西赤沢町字万場 261-2

電話/FAX 0532-48-5732

事務局長

山本 yamamoto@kounou-shienkai.jp

ホームページ：<https://www.kounou-shienkai.jp/>





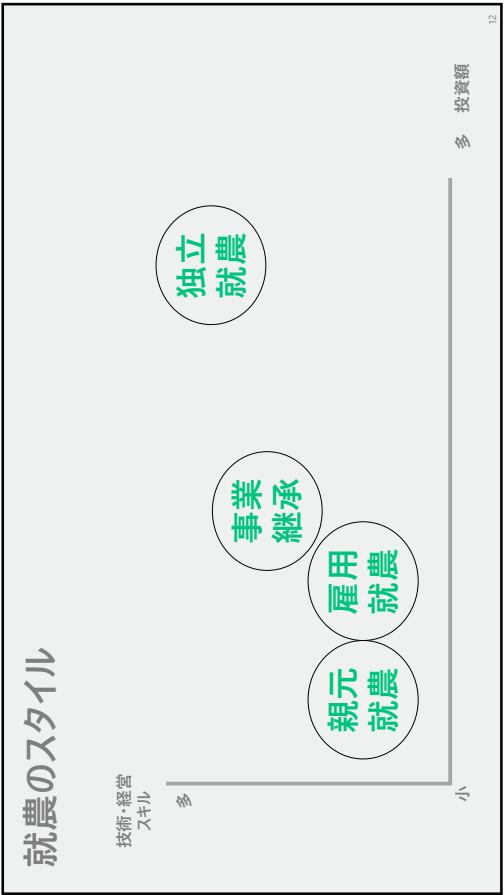
存在意義
新規就農者の育成
リーダーの育成

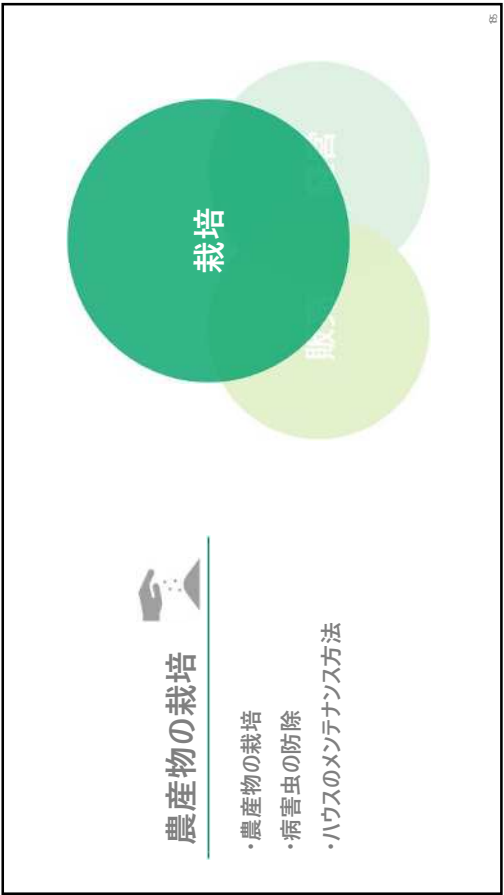
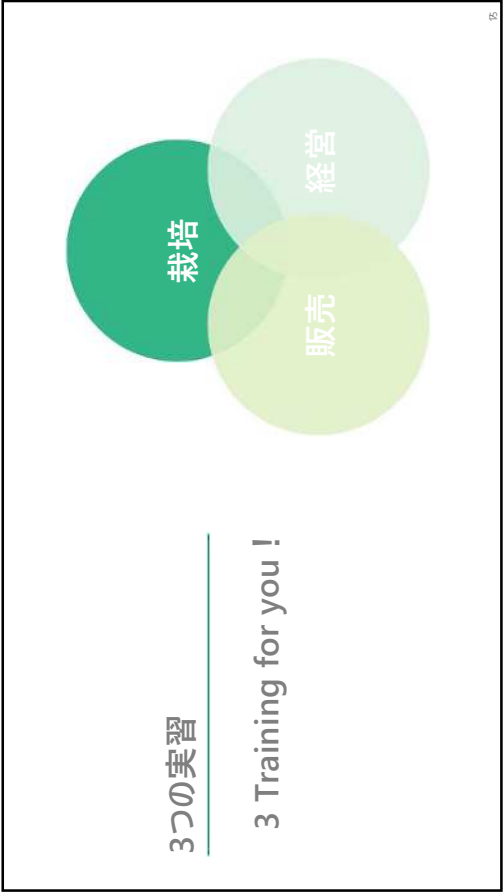
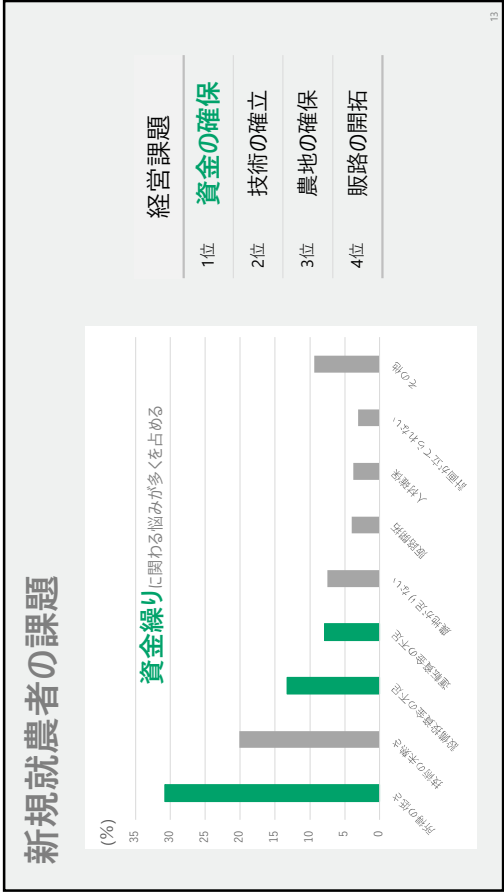
なぜ？

食の担い手を守る



課題
自立の難しさ





農産物の販売

販売

栽培

経営

- ・出荷作業
- ・対面販売
- ・市場調査

18

経営力の体得

経営

販売

栽培

- ・モデルハウス1棟を管理する
- ・ヒト・モノ・カネの仕組みを理解する

19

2つの支援

2 Support for you !

助成金

ネットワーク

11

2つの支援

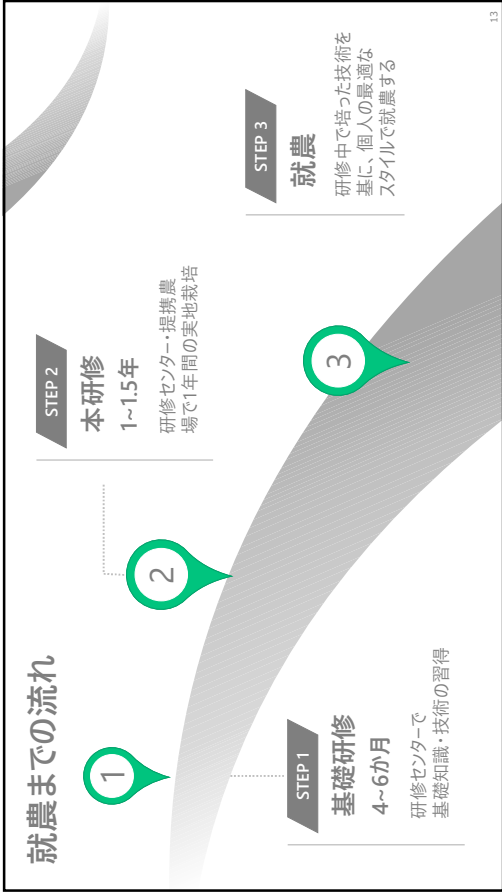
助成金

基礎研修：
①8万円/月
②12.5万円/月(就農準備金)
※①②のいずれかを選択
・本研修：
12.5万円/月(就農準備金) + 2.5万
(功農支援会支援金) = 15万円/月

ネットワーク

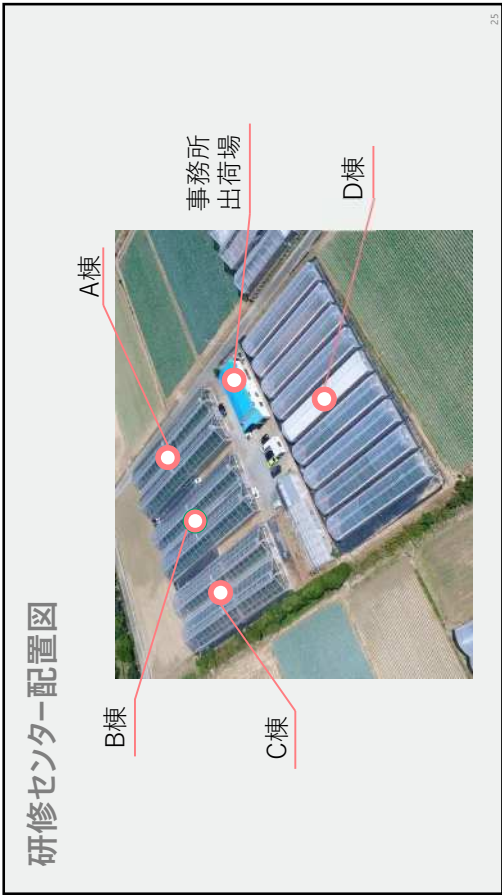
農業技術・経営管理等、
功農支援会のネットワークを
通じて独立後もサポートします

20



週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土	日	その他
午前	朝礼：本日のスケジュール確認・状況報告							
午前	実習							
午後	実習	定例会	実習	勉強会	実習	※休み	※休み	・大規模農園研修 ・生産物販売研修 ・先輩とのMTG ※土日には必要に 応じて当番制
終礼：状況報告・日報作成								



A棟：大玉トマト高収量型モデル

目指す農業スタイル

環境制御技術を用いた養液栽培で高収量を目指すことで生産性を高めるとともに収入アップを目指しています。

業務	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定植												
管理作業												
収穫												
片付け												



B棟：高糖度トマト栽培モデル

目指す農業スタイル

需要のある高糖度のミニトマトを定期的に栽培し、収量は少ないが高単価で販売し、定期的な収入の確保に繋げる

業務	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定植												
管理作業												
収穫												
片付け												



C棟：ミニトマト有機栽培モデル

目指す農業スタイル

有機栽培により、環境負荷低減と安心安全な農産物を栽培し、付加価値の高い農業スタイルを目指す

業務	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定植												
管理作業												
収穫												
片付け・消毒												



D棟：有機葉物野菜の通年栽培

目指す農業スタイル

有機栽培により付加価値の高いスタイルに加え、日本の経営スタイルで多く見られる少量多品目栽培に取り組む。多様なニーズへの対応、通年栽培による所得安定化の実現を目指す。

業務	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
播種												
管理作業												
収穫												
片付け・消毒												



就農までのサポート



計画

- ・認定新規就農者の資格取得
- ・青年等就農資金



書類手続き

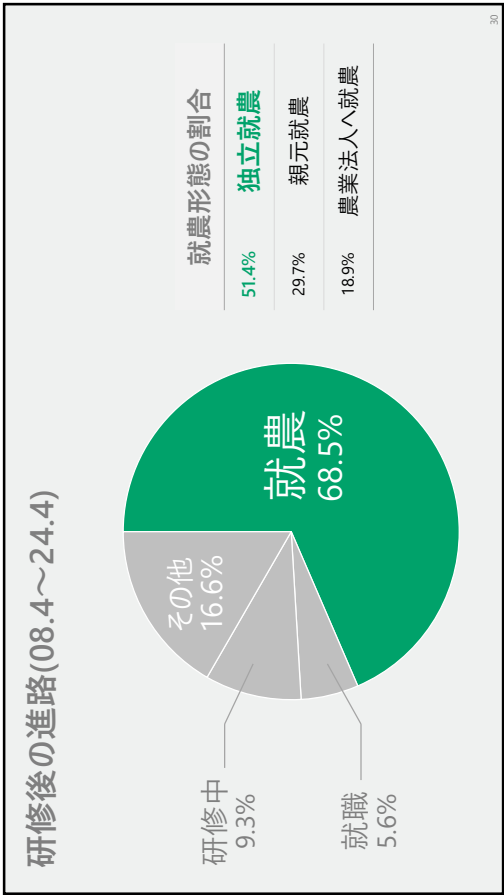
- ・農地の取得
- ・認定新規就農者の資格取得
- ・経営発展支援事業



就農先紹介

- ・農業者、農業法人の紹介

20



21

ご清聴ありがとうございました。

農業から、地域を元気にする仕事へ。アナタの挑戦を待っています。

概要

所在地：愛知県田原市
六連町神ヶ谷16-1

設立年：2014年

代表者：石黒 功

お問い合わせはコチラ



担当者：山本
0532-75-0671

21